



# 世界自然遺産沖縄基金

～ かけがえのない価値を次世代へ～

## 令和6年度 助成事業 受付開始



応募期間

令和5年11月1日(水)～12月28日(木) **必着**

活動期間 令和6年4月1日以降開始事業 ※原則1年間 最長2年間

助成金額 ①調査研究・技術開発 : 1件あたり上限50万円  
②普及啓発等活動 : 1件あたり上限30万円

対象事業 (1) 沖縄島北部および西表島の世界自然遺産登録地に関する自然環境の保全管理、調査研究、普及啓発、教育及び技術開発、保全活動に取り組む地域の人材育成 等の事業  
(2) その他(1)の目的の達成に必要な事業

応募方法など詳しくはWEBで!

<http://churashima.okinawa/wnhof/>

【主催】世界自然遺産推進共同企業体

【問合わせ】一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究所 普及開発課  
〒905-0206 沖縄県国頭郡本部町字石川888番地

■Tel 0980-48-2266 ■Fax 0980-48-2200

■【基金】wnhof@okichura.jp 【助成事業】wnhof-grant@okichura.jp



# 世界自然遺産沖縄基金とは？

## 『世界自然遺産』奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島

2021年7月に「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」は世界自然遺産に登録されました。奄美大島、徳之島、沖縄島北部、西表島の4地域の5構成要素で構成されており、面積は42,698haの陸域となります。

※5構成 - 4地域中にある各区域のこと【奄美大島1区域、徳之島2区域、沖縄島北部1区域、西表島1区域】

これら地域は、世界の生物多様性ホットスポットの1つである日本の中でも生物多様性が突出して高い地域を最も代表する区域です。多くの種が生息し、絶滅危惧種や固有種が多く、さらに遺存固有種及び独特な進化を遂げた種の例が多く存在しています。

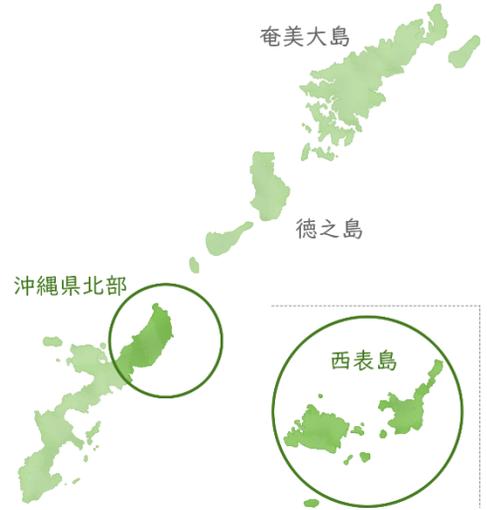
## 世界自然遺産推進共同企業体とその活動内容

沖縄島北部及び西表島を中心とする世界自然遺産登録地をはじめとする沖縄県内での環境保全・地域振興活動を目的としています。

2023年7月現在、54社の企業・団体が参加しています。

### <活動内容>

- ①希少種及び自然環境の保護
- ②世界自然遺産に関する普及啓発、調査・研究等
- ③密猟・密輸防止対策
- ④行政による普及啓発等への参加及び協力
- ⑤希少種及び自然環境の活用を通じた地域貢献・地域振興
- ⑥SDGsの推進による社会の持続的発展への貢献
- ⑦その他協議会の目的達成のために必要な活動



## 世界自然遺産沖縄基金と助成事業

世界自然遺産沖縄基金は、世界自然遺産推進共同企業体からの要請を受け、一般財団法人沖縄美ら島財団が設立し、管理・運営を行っています。

世界自然遺産沖縄基金助成事業は、その基金を基に、沖縄島北部及び西表島における世界自然遺産登録地において、その価値を将来にわたって維持・持続できるよう、自然環境の適正な保安全管理、自然の恵みに関する普及啓発、調査研究や保全活動に取り組む地域の人材育成などを実施する団体に対し、基金の範囲内において助成金を交付するものです。

